

## 新除草・調節剤

る。適用土壌は壤土～埴土で、1日の減水深

1.5 cm以下のところで使用する。

漏水の大きい水田では、使用をさける。早期、早植えなど生育抑制の心配がある場合は、中耕後に使用する。

### P H D 粒 剤

(取扱メーカー)大日本インキ化学工業株式会社

北興化学工業株式会社

対象作物：移植水稻

性状・作用特性：本剤は、4,5,7-トリクロルベンズチアシアゾール-2,1,3 (PH 40-21) 6.3%と、2-メチル-4-クロルフェノキシアセトヒドラジド (CPH) 1.0%を含む粒剤である。

本剤は、根部吸収によって殺草力をあらわし、イネ科雑草に効果の高いPH 40-21に、広葉雑草マツバイ等に効果の高いCPHを配合したものである。

人畜毒性は低く、安全に使用できる。急性経口毒性は、PH 40-21：ラットLD<sub>50</sub> 1,500 mg/Kg以上、CPH：マウス520 mg/Kg、魚毒性はPH 40-21：ヒメダカ48時間TLM 5 ppm以上、CPH：コイ48時間TLM 4.3 ppm以上である。

使用方法：今回実用化が認められたのは、移植後土壌処理である。使用時期は、普通期の移植後4～10日で10アール当たり3Kgを処理する。適用土壌は、減水深0.5 cm/日以下の埴土～埴土である。

使用上の注意：DBNに準ずる。

[D I C] M P 粒 剤

D I C-4103 粒 剤

(取扱メーカー)大日本インキ化学工業株式会社

テイツク農薬株式会社

対象作物：水 稻

性状・作用特性：本剤の主成分は、ペンタクロルフェノールナトリウム1水化物 (PCP-Na) 20%と、2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸ヒドラジド (CPH) 1.2%の混合粒剤である。

PCP-Na, CPHともにその作用はすでによく知られているように、前者はノビエ、カヤツリグサ等水田初期雑草に有効な接触除草剤であり、後者はマツバイなどの多年生雑草やコナギなど広葉雑草およびある程度生育の進んだ幼少雑草に対し、根・莖葉から吸収され、殺草効果を示すホルモン型移行型除草剤である。

本剤は、この両者を配合することにより、母剤であるPCP-Naのマツバイ殺草力の小さい点と効力の持続性の短い点を改善したもので、水田の初期～中期にわたるよう使用適期幅も広がっている。効力持続期間もPCP-Na単剤の2倍程度長く期待できる。

使用方法：普通期および早期栽培の移植後4～8日および中耕後湛水土壌処理剤として、10アール当たり製品3～4Kgを均一に散布する。

魚貝類に対する使用上の注意は、PCP-Naに準じ、PCPの使用制限措置がとられている地帯ではその使用条件にしたがう。

適用土壌は埴土～埴土で、極端な漏水田、冷